

2.7 連続用紙送り機構の設置と用紙のセット

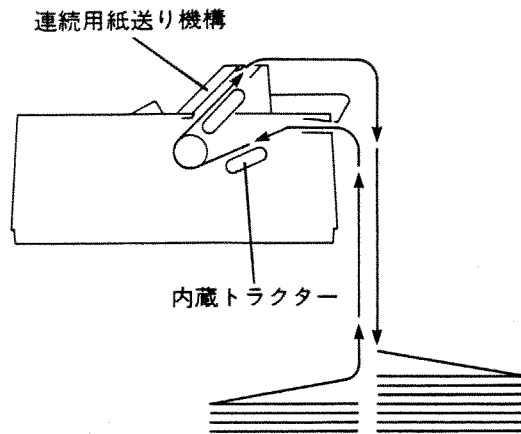
連続用紙送り機構を使用すると、下図のように連続用紙を2種類の方法でセットできます。

両側紙ホチキス紙を使用の場合には、ボトム・フィードでお使いください。

- プッシュ/プル・フィード

内蔵トラクターと連続用紙送り機構を使用します。

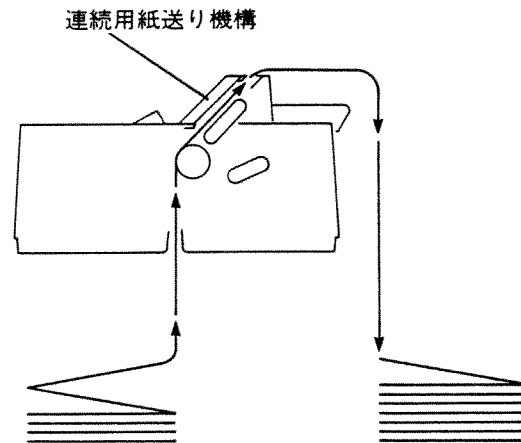
「内蔵トラクターへの用紙のセット」へ進んでください。



- ボトム・フィード

天板にスリット孔のある専用台 (ID# 3691428) と、連続用紙送り機構を使用します。

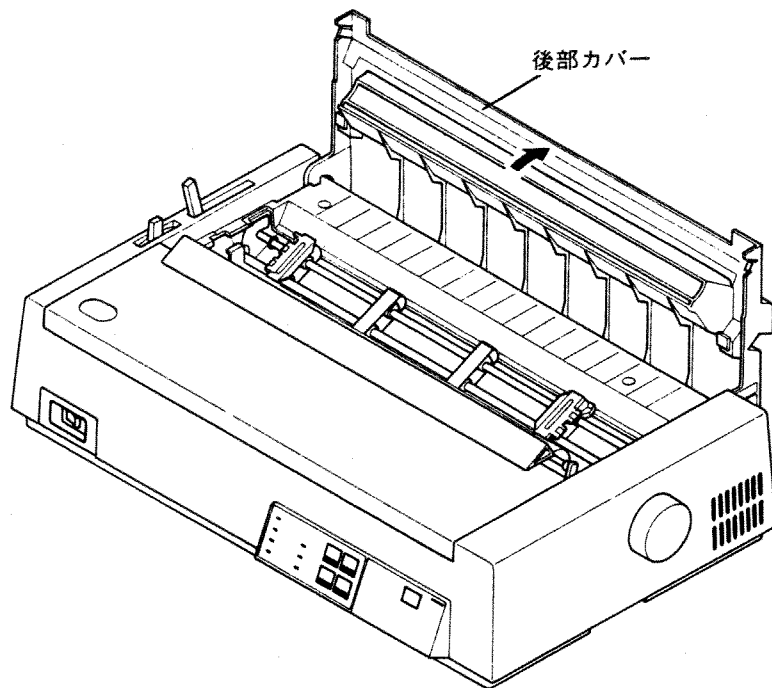
「連続用紙送り機構の設置」へ進んでください。



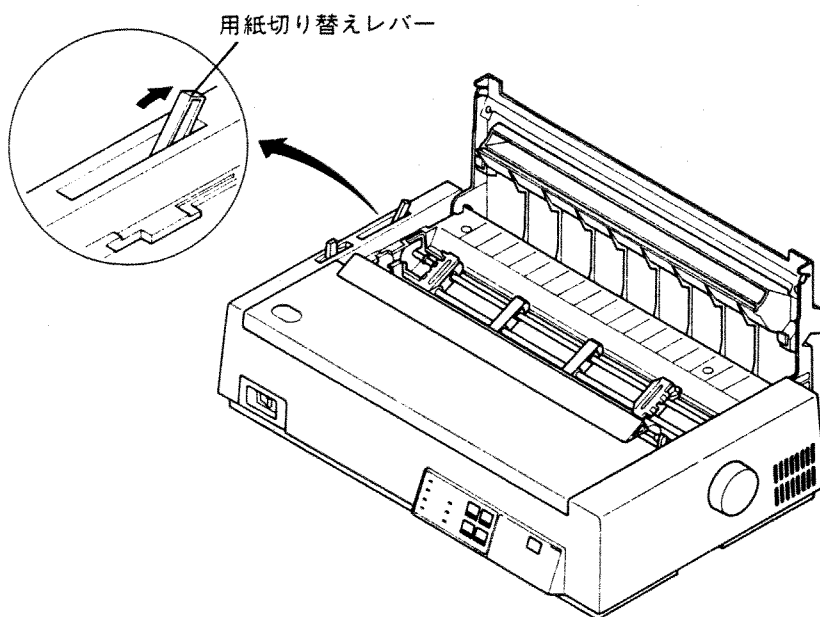
内蔵トラクターへの用紙のセット

注) ボトム・フィードにより用紙をセットするときは、次の「連続用紙送り機構の設置」へ進んでください。

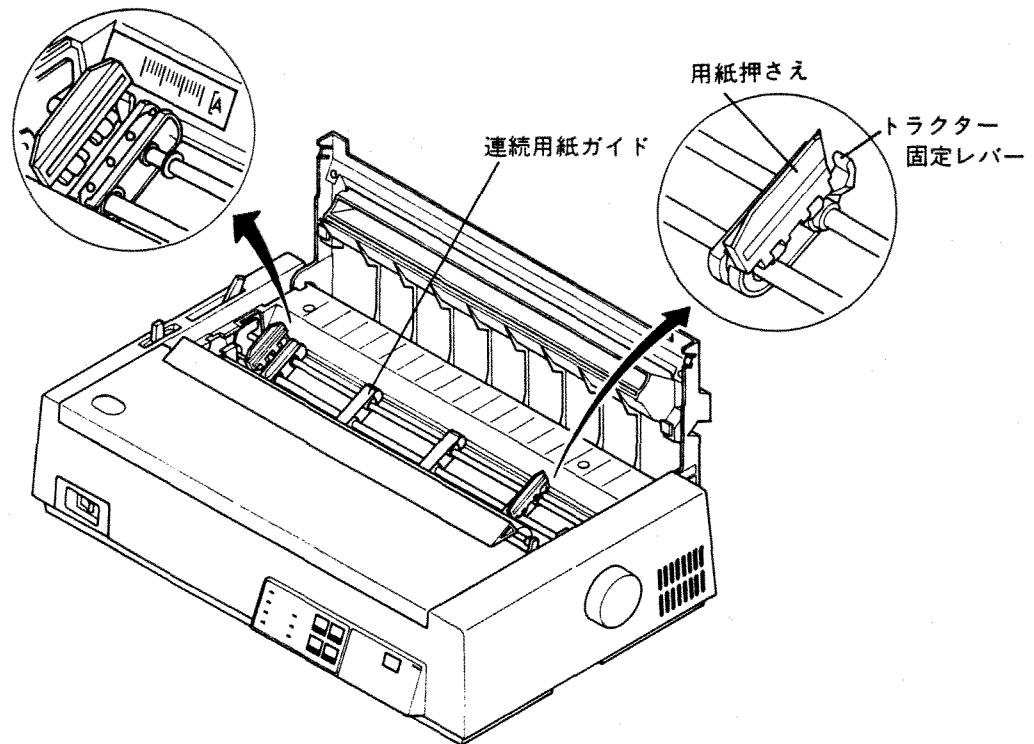
1. プリンターの後部カバーを開いてください。



2. 用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。

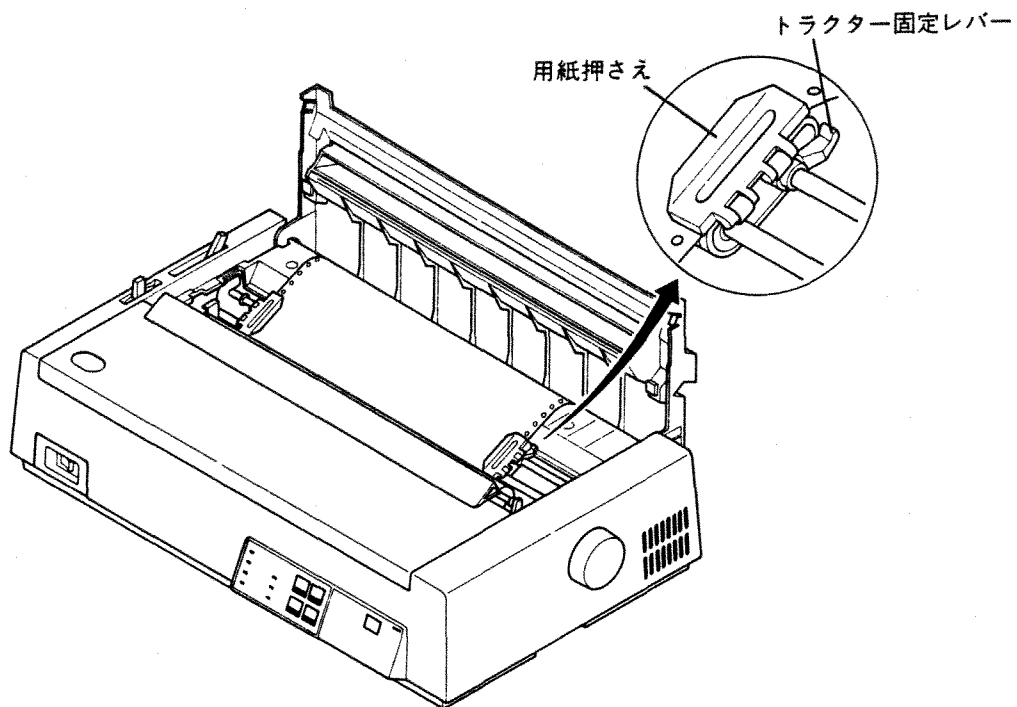


-
3. トラクター固定レバーを手前へ押し上げて、左側のトラクターを[A印左側のスケール]の間に合わせ、右側のトラクターを使用する用紙の幅に合わせてトラクターの用紙押さえを開けてください。
連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分になるように移動してください。

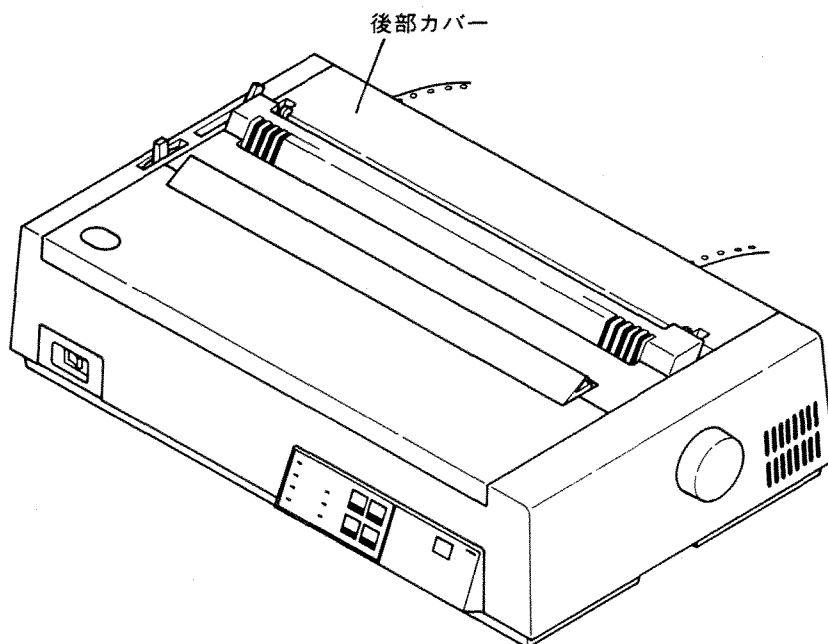


注) [A マークが印字開始位置を示します。]

-
4. プリンター本体と後部カバーの間に連続用紙を通し、連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえを閉じてください。
トラクター固定レバーを押し下げてトラクターを固定してください。

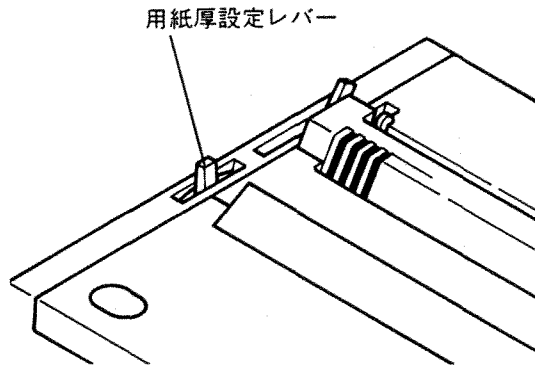


-
5. 後部カバーを閉じてください。



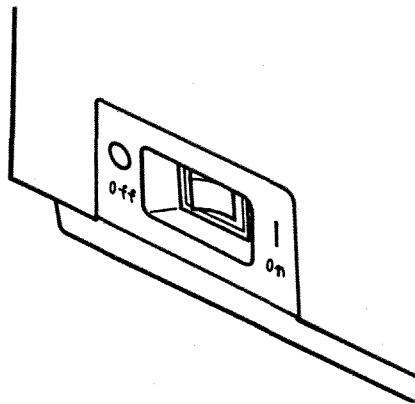
6. 用紙厚設定レバーで適正な用紙厚に設定してください。

注) 「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。



7. 電源スイッチを入れてください。電源ランプと印刷可ランプが点灯し、用紙が自動的に吸入されます。

注) 点検ランプがついた場合は電源スイッチを切って、「第4章 プリンターの診断」へ進んでください。



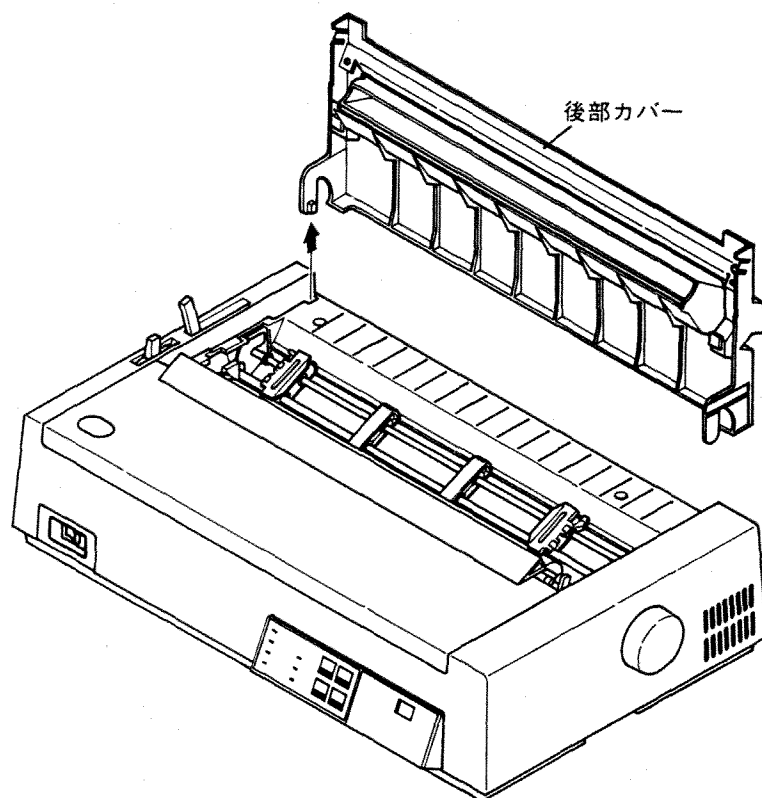
以上で内蔵トラクターへの用紙のセットは完了です。

電源スイッチを切り、次の「連続用紙送り機構の設置」へ進んでください。

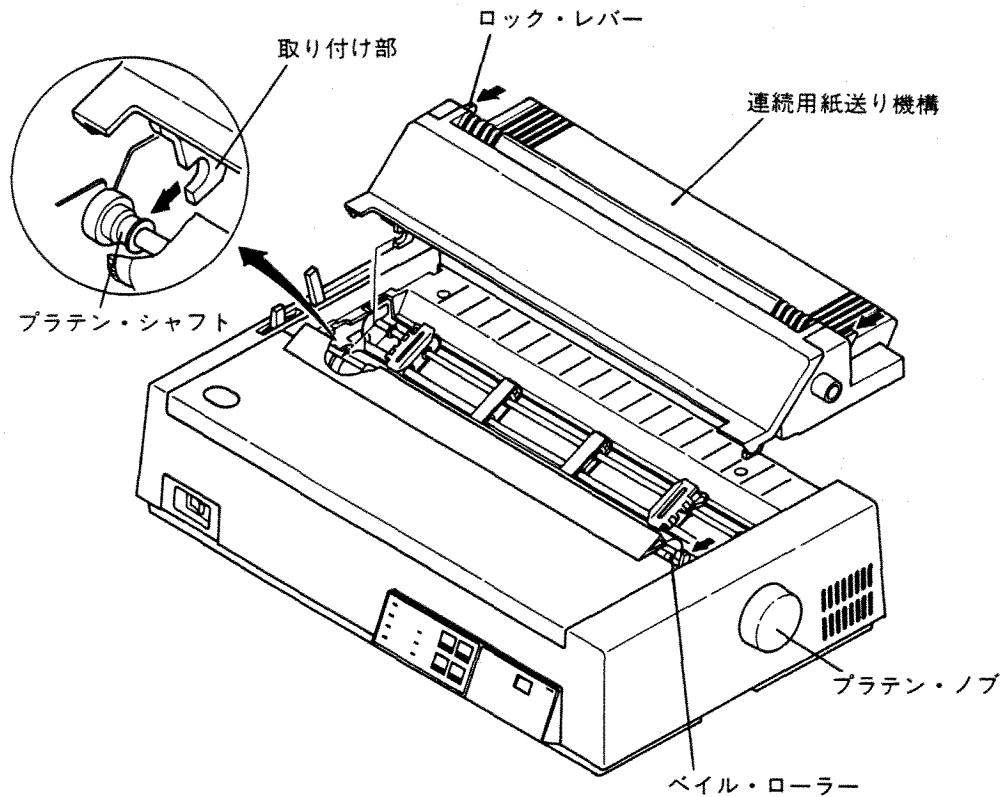
連続用紙送り機構の設置

- 注) ● プリンターの電源スイッチが切れていることを確認してください。
● 連続用紙送り機構の部品に過不足がなく損傷がないことを確認してください。

-
1. プリンター後部カバーを開き、垂直に持ち上げて取り外してください。



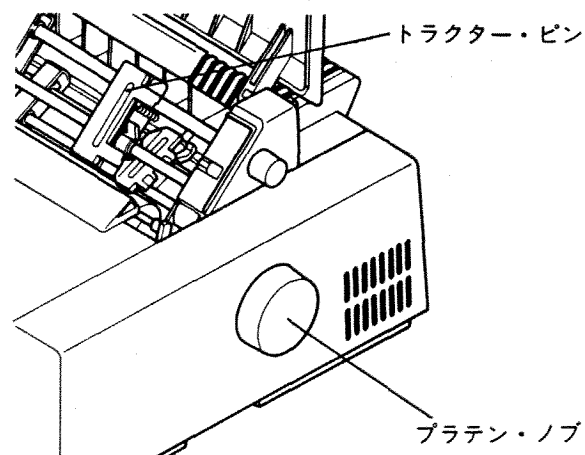
2. ベイル・ローラーを手前にセットしてから、連続用紙送り機構を少し手前に傾けるようにして、プリンターのプラテン・シャフトに連続用紙送り機構の取り付け部を差し込んでください。



3. 両側のロック・レバーを押したまま連続用紙送り機構を下に降ろし、確実に取り付けてください。

連続用紙送り機構の取り付け部が、左右とも正しくプリンターに固定されているか確認してください。

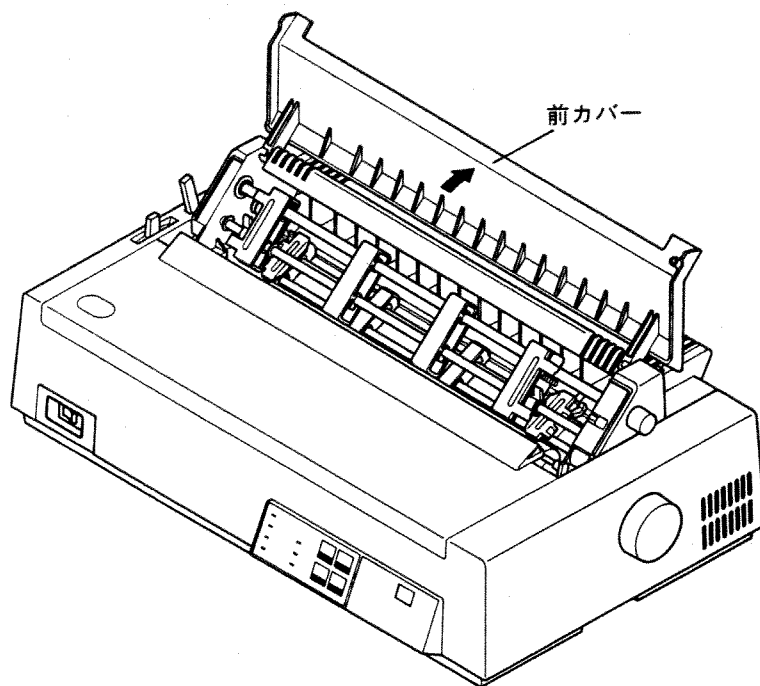
正しく固定されていれば、プラテン・ノブを回したとき、連続用紙送り機構のトラクター・ピンが回ります。



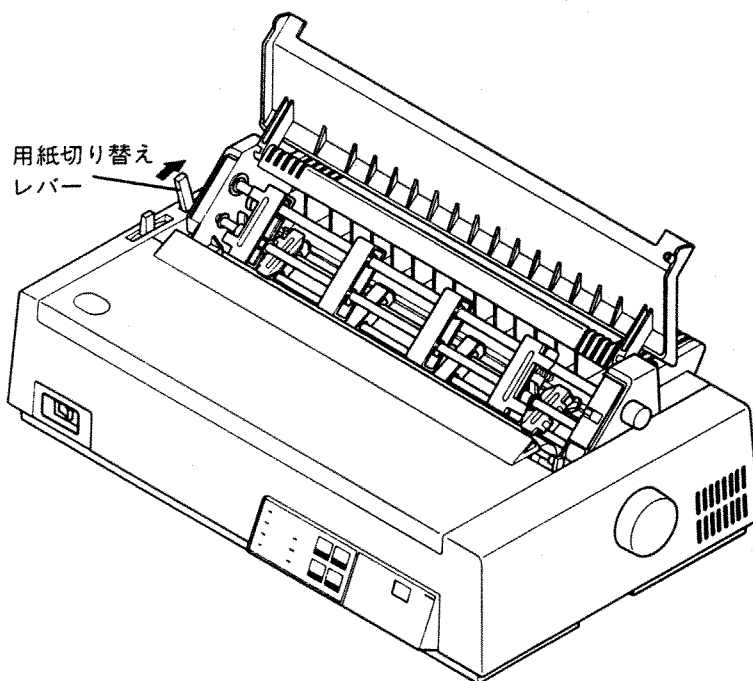
以上で連続用紙送り機構の設置は終了です。
次の「用紙のセット」へ進んでください。

用紙のセット

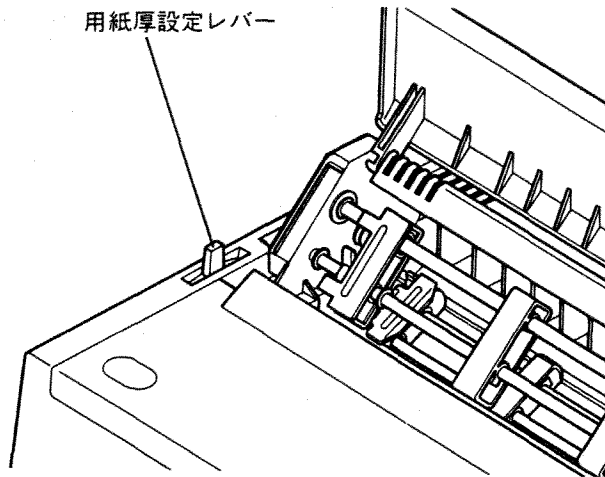
1. 連続用紙送り機構の前カバーを開いてください。



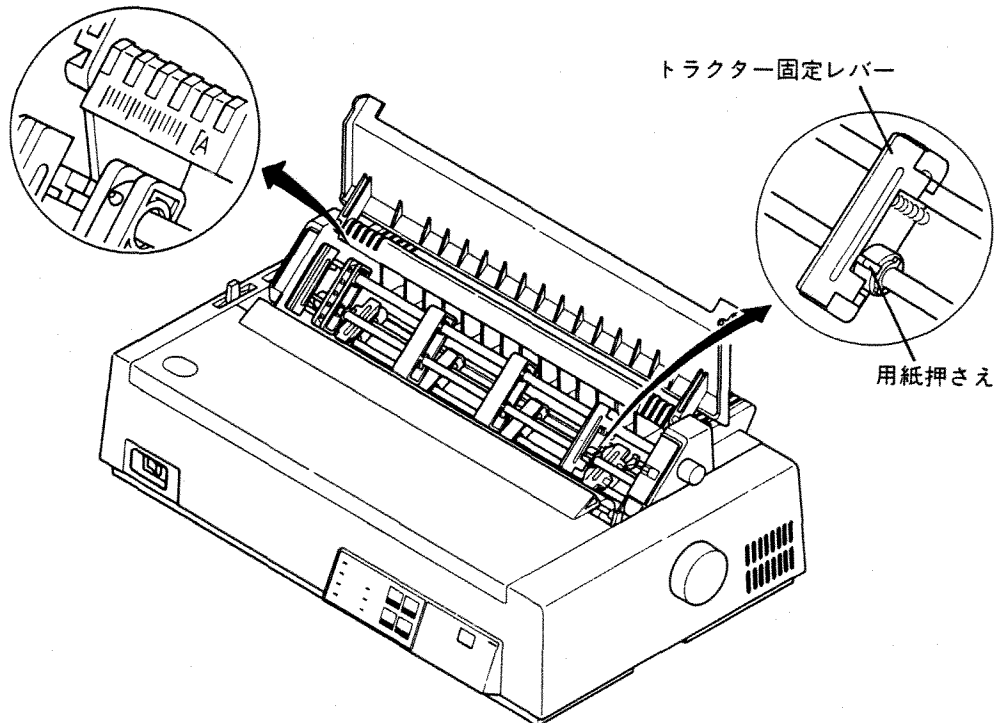
2. 用紙切り替えレバーを「連続紙」にセットしてください。



-
3. プリンター用の紙厚設定レバーを適正な紙厚に設定してください。連量が55kgの紙で1を目安としてください。（「3.7 紙厚調整の仕方」を参照してください。）

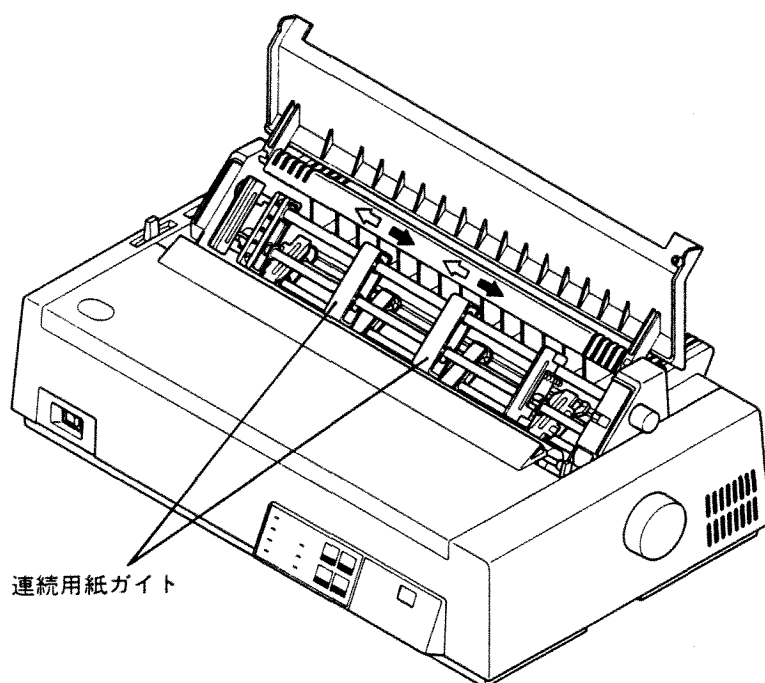


-
4. 連続用紙送り機構のトラクター固定レバーを押し下げて、左側のトラクターを[A印左側のスケール]の間に合わせ、右側のトラクターを使用する紙の幅に合わせてトラクターの紙押さえを開いてください。

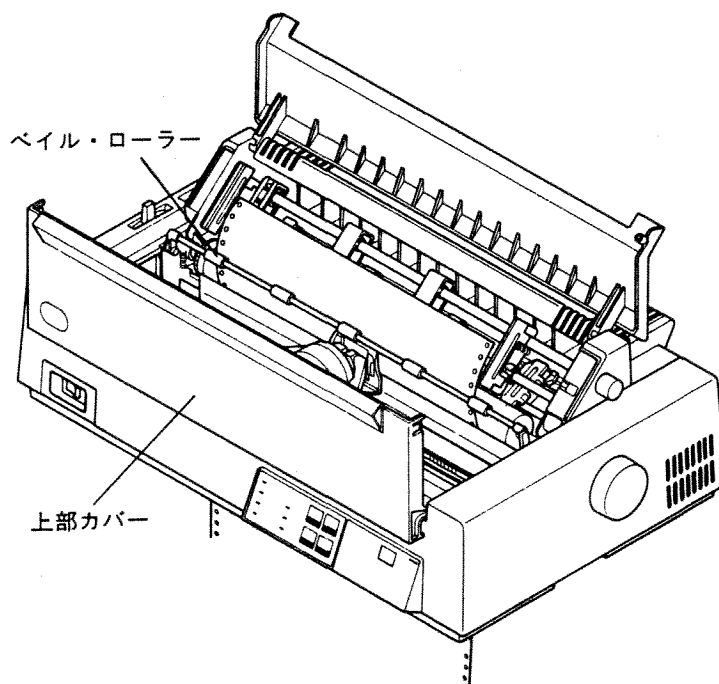


注) [Aマークが印字開始位置を示します。]

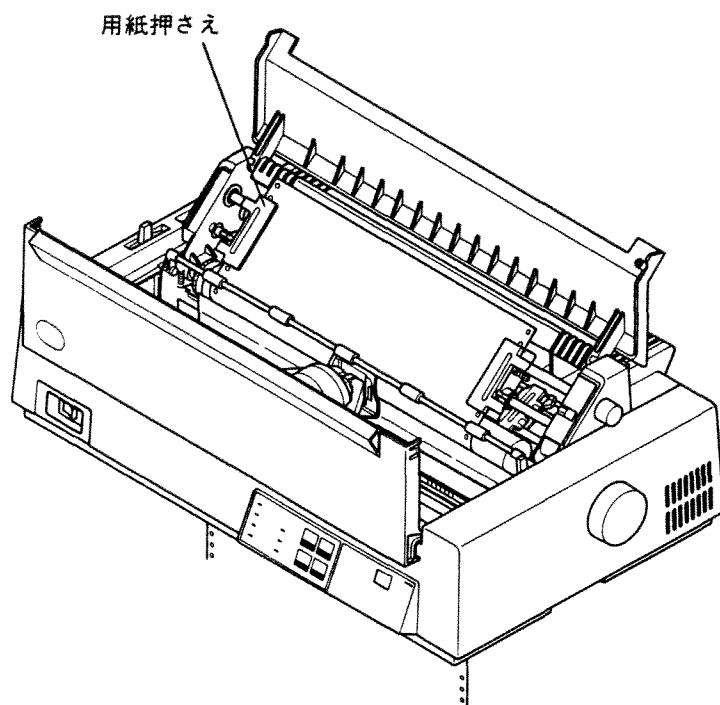
-
5. 連続用紙ガイドを用紙の幅の約3等分の位置になるように移動してください。



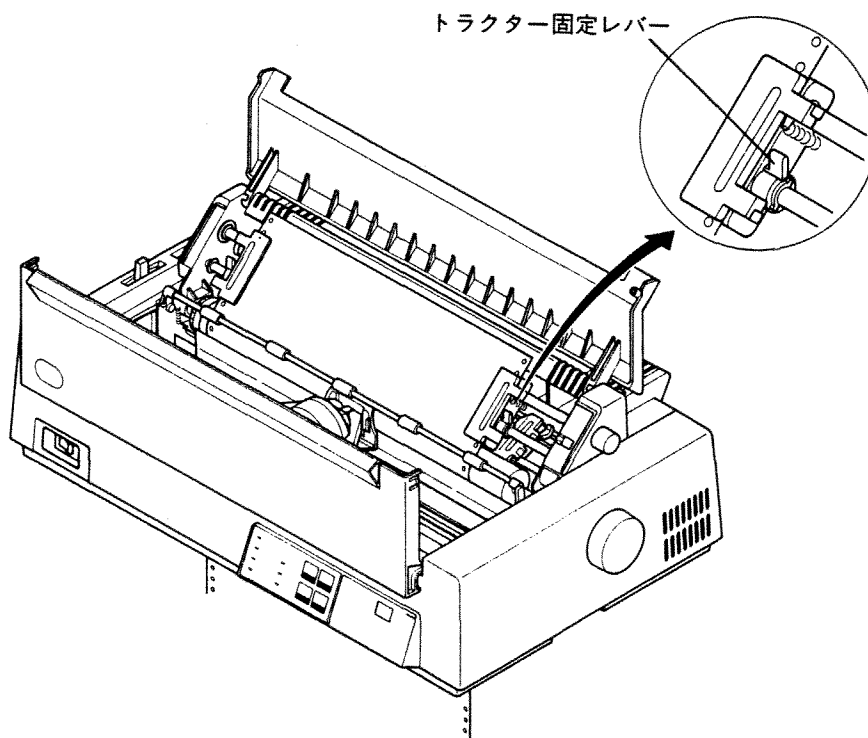
-
6. プリンターの上部カバーを開いてください。プッシュ/プル・フィードのときは、プラテン・ノブを回して、ボトム・フィードのときはプリンターの底面から用紙を差し込み、ベイル・ローラーとプラテンの間を通して、連続用紙送り機構のトラクターに用紙が掛けられるようにしてください。



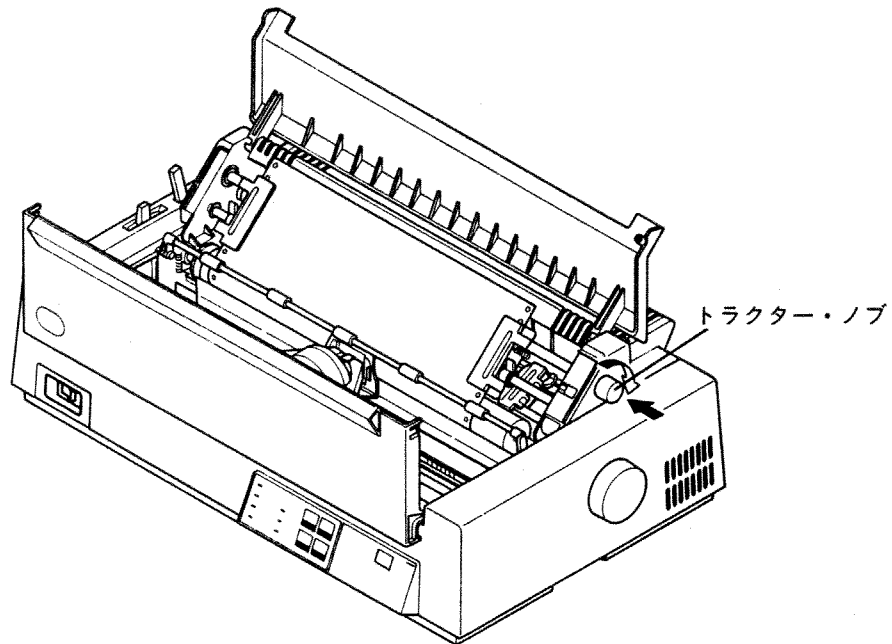
-
7. 連続用紙のスプロケット孔を、左右のトラクターで位置がずれないようにして、トラクター・ピンに合わせてトラクターの用紙押さえを閉じてください。



-
8. トラクター固定レバーを押し上げて、トラクターを固定してください。

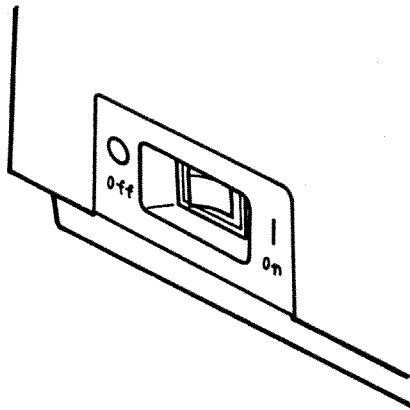


-
9. プッシュ/プル・フィードのとき、トラクター・ノブを下図のように矢印方向に押しながら時計方向に回して、内蔵トラクターと連続用紙送り機構の間で用紙のたわみを取ります。



-
10. 連続用紙送り機構の前カバーと、プリンターの上部カバーを閉じて、電源スイッチを入れてください。電源ランプと印刷可ランプが点灯します。

注) 点検ランプがついた場合は電源スイッチを切って、「第4章 プリンターの診断」へ進んでください。



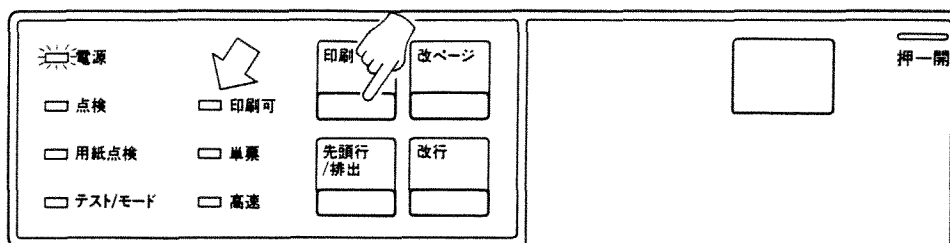
以上で連続用紙送り機構への用紙のセットは終了です。
「2.8 印字テスト」へ進んでください。

2.8 印字テスト

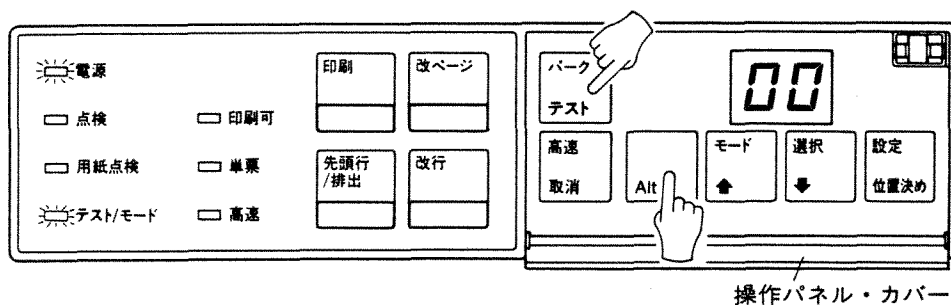
印字テストには 72 桁と 132 桁の印字幅の 2 種類があります。ここでは 72 桁の印字テストについて説明します。132 桁の印字テストについては、「付録 C. 自己診断機能」を参照してください。

- 注) ● 用紙をセットしてあることを確認してください。
● 印字テストの操作はオプション機構が取り付けられているプリンターの場合も共通です。

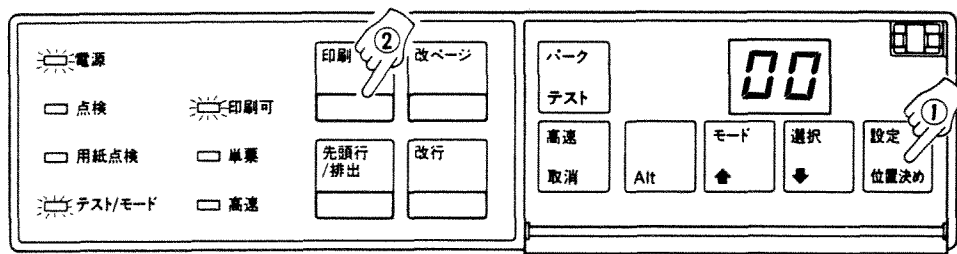
1. 印刷可ランプが点灯している場合、印刷スイッチを押して印刷不可状態（印刷可ランプが消えている状態）にしてください。



2. 操作パネル・カバーを開き、テスト・スイッチ (Alt スイッチを押したままパーク・スイッチ) を押してください。
テスト/モード・ランプが点灯し、状況コードが「00」になります。



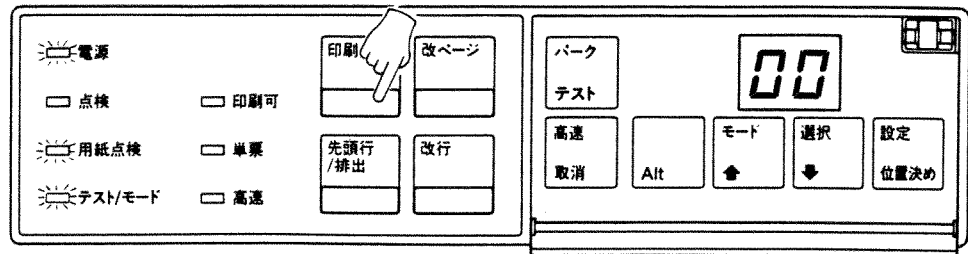
3. 設定スイッチを押してください。次に印刷スイッチを押してください。
印刷可ランプが点灯して、1 行 72 桁の指定文字パターンを繰り返し印字します。



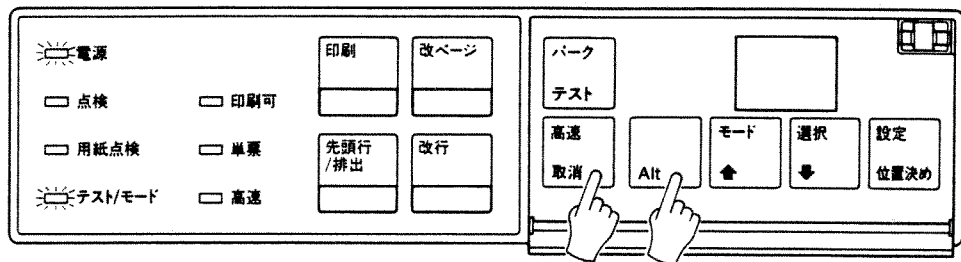
4. 用紙がなくなると、用紙点検ランプがつき、印刷不可の状態になり、印刷が中断します。

印字テストの結果が次ページの印字テスト例と同じであることを確かめてください。

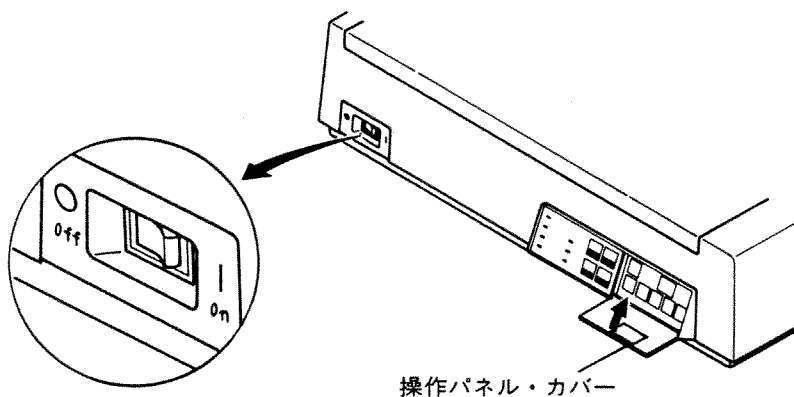
印字テスト中に印刷スイッチを押すと、印刷ランプが消え、印字テストを中断します。



5. 取消スイッチ (Alt スイッチを押したまま高速スイッチ) を押ししてください。印字テストが終了します。



6. 操作パネル・カバーを閉じて、電源スイッチを切ってください。



以上で印字テストは終了です。

初期設定の変更をする場合は「付録 B. 初期設定操作と罫線調整」に、それ以外は「2.9 システム・ユニットへの接続」に進んでください。

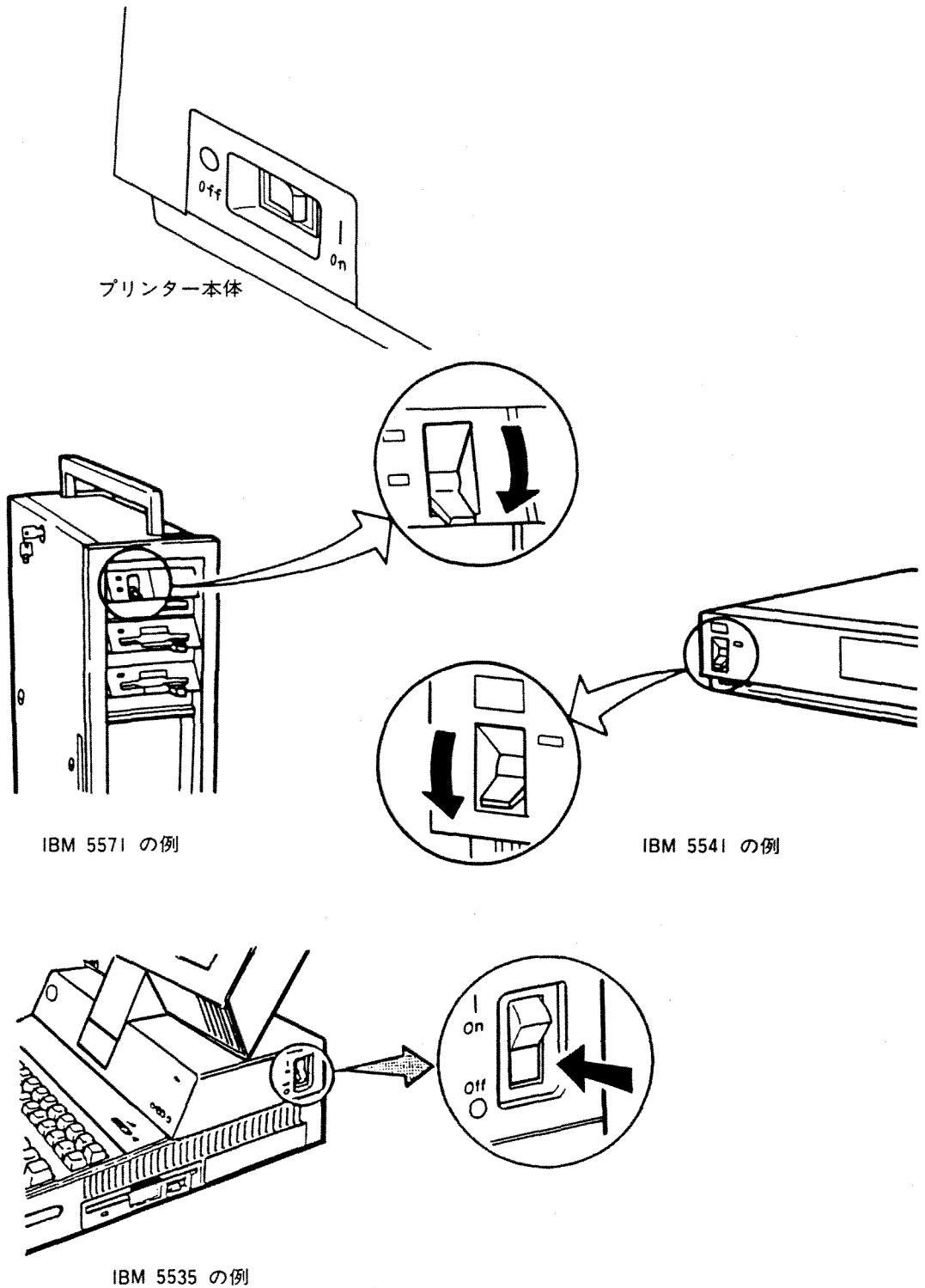
2.9 システム・ユニットへの接続

システム接続時の注意事項

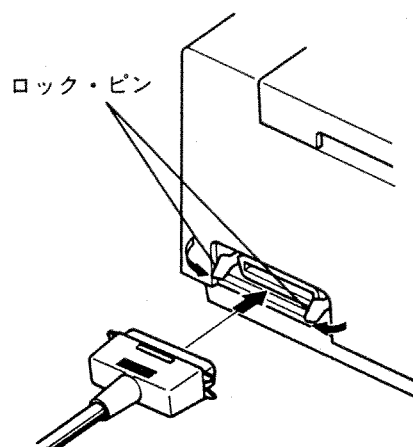
プリンター・ケーブルは別売りです。プリンター・ケーブルは、使用するシステムにより異なりますので、注意してください。

使用するシステム	プリンター・ケーブル
5530-S/T、5535-S、5541-T、5545、 5551-S/T/V、5561-W、5571、5580-Y システム装置、 3472-J/3477-J 日本語ワークステーション、 IBM RISC システム/6000 ファミリー、BS/150、FIS90	ID# 81X7875 (2.4m) ID# 09F5544 (5.0m)
上記以外のシステム	ID# 6454977 (2.4m) ID# 4773366 (5.0m)

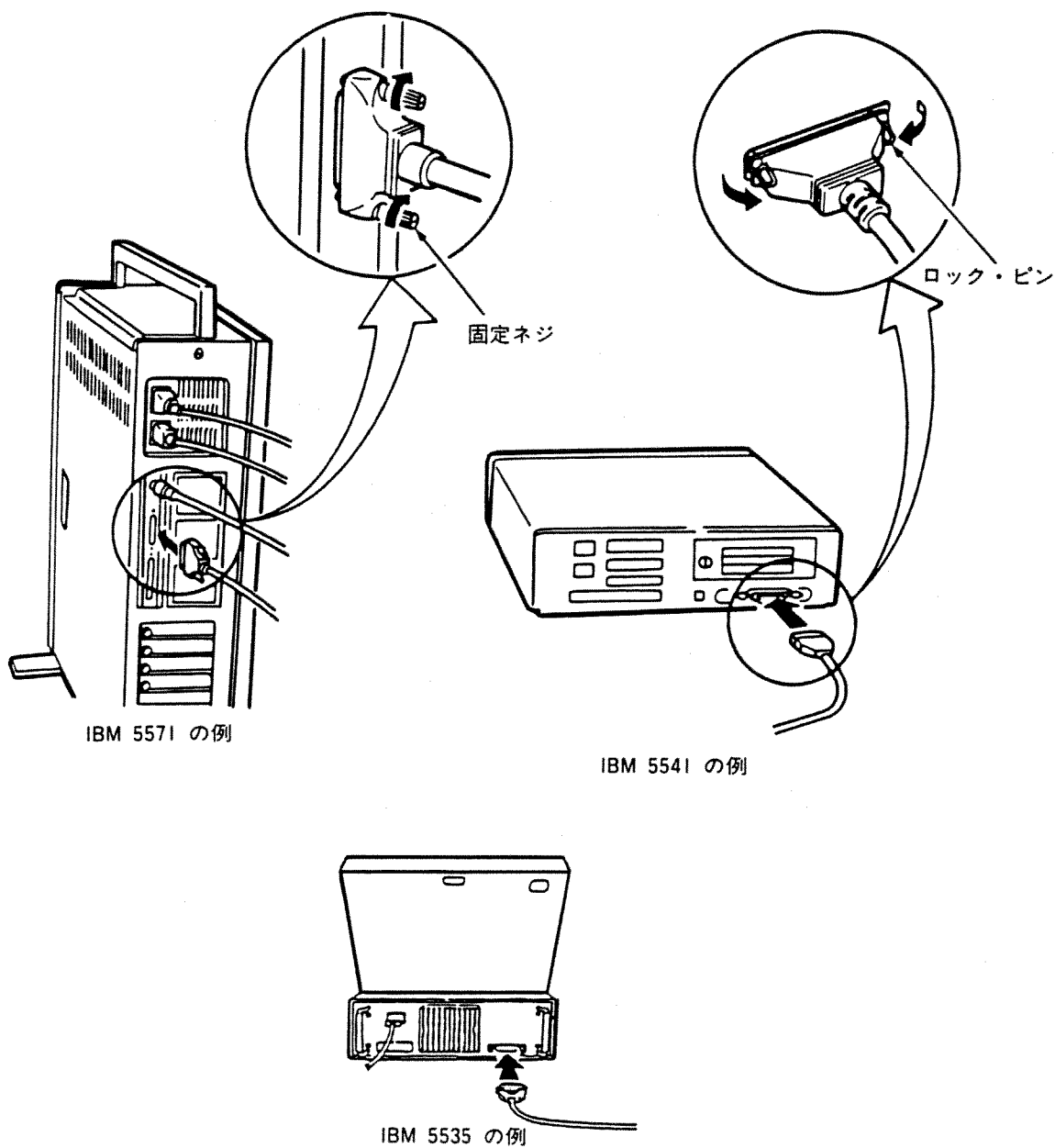
-
1. プリンターおよびシステム・ユニットの電源を切り、両方の電源コードをコンセントから抜いてください。



-
2. プリンター・ケーブルの36ピンのコネクタをプリンターにつないでください。
ロック・ピンでコネクタを固定してください。



-
3. プリンター・ケーブルのもう一方のコネクターをシステム・ユニットにつないでください。
固定ネジまたはロック・ピンでコネクターを固定してください。



最後に両方の電源コードをコンセントへ差し込んでください。以上でプリンターを使用する準備はすべて終了です。